

## 炭素工具鋼鋼材 (SK材)

工具鋼のなかでも使用頻度の高い鋼材です。C量が0.6～1.5%で焼入れ・焼き戻しを行うことで硬度を出すことができる材料で、硬度のほか耐摩耗性にも優れ、切削工具に使われるタイプもあります。ただSK材全般は高温になると硬度が低下する特徴があり、熱の発生の比較的少ないタイプの手工具、例えばヤスリ、カミソリ、刃物、錐、斧、ゲージ、ぜんまい、ペン先、チゼル、刻印、丸のこ等によく使われます。

SK材は炭素量が0.6%を超えるものと規定されていますが、実際、この炭素量にあると硬度はほとんど変わらず、あとは耐摩耗性や耐衝撃性が変わってきます。機械構造用炭素鋼 (SxxC材) との線引きが0.6%になっているのはこうしたことが背景にあります。

炭素工具鋼鋼材 (SK材) のJISとISOの対照表

JIS	ISO
SK140	-
SK120	C120U
SK105	C105U
SK95	-
SK90	C90U
SK85	-
SK80	C80U
SK75	-
SK70	C70U
SK65	-
SK60	-

## SK85 (SK5)

材料記号	化学成分				
	C	Si	Mn	P	S
SK85 (SK5)	0.80～0.90	0.10～0.35	0.10～0.50	0.030以下	0.030以下

鋼板、鋼帯を除く炭素工具鋼鋼材の焼きなまし硬度

材料記号	焼きなまし温度	焼きなまし硬度
	(°C)	(HBW)
SK85	730～760徐冷	207以下

熱間圧延鋼板及び鋼帯、冷間圧延鋼板及び鋼帯の硬度

材料記号	熱間圧延鋼板及び鋼帯		冷間圧延鋼板及び鋼帯		
	熱間圧延まま 硬度 HRC	焼きなまし硬度		焼きなまし硬 度 Hv	冷間圧延まま 硬度 Hv (参考値)
		HRB	HRC		
SK85	43以下	100以下	-	200以下	(200～290)